

令和5年度 江戸川区立清新第一小学校 学校関係者評価 年度当初・中間報告書

学校教育目標	「体をきたえる子」「思いやりのある子」※重点 「最後までやりぬく子」「進んで学習する子」	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	・保護者・地域から信頼され、共に歩む学校、「チーム清新一小」による落ち着いた学校 ・体をきたえる子、思いやりのある子、最後までやりぬく子、進んで学習する子 ・児童一人一人としっかりと向き合う教師 認め合い、学び合える教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果> 主幹教諭と主任教諭がリーダーシップを発揮して教育活動を進めることができ、子供たちが落ち着いて過ごすことができた。 行事の精選や効率的な会議の開催等により、ゆとりのある勤務体系を整えることができた。 <課題> 児童数が900人を超えていることにより多くの制限をしながら教育活動を進めているため、より効果的な活動について考える必要がある。 一人一台端末の有効活用を中心に、新たな教育課題に対応しながら指導を行っていく必要がある。		

教育委員会重点課題	<取組項目>・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		年度末に向けた改善策
				取組	成果	評価	コメント	
学力の向上	<学力の向上> ・授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・一人一台端末を授業の中で積極的に活用する。ミライードを積極的に活用する。 ・3年生～6年生の算数は、少人数習熟度別による学習を展開する。 ・外部講師と連携し、放課後補習教室の充実を図る。 ・「江戸川っ子 study week！」を毎学期設定し、家庭学習の習慣化を図る。	・全国学力・学習状況調査の正答率で、全国平均を5%程度上回る。 ・東京ベネッセ・ドリル診断テストで、平均正答率80%以上を目指す。	B	B	B	・一人一台端末を用いた授業や家庭学習等は、積極的に進めてほしい。 ・少人数による指導形態は大変効果的だと思う。今後更に充実して欲しい。 ・外部講師による補習は、家庭にとってはありがたいものである。一人一台端末は、家庭学習でも活用してほしい。	・新たに導入された「ミライード」については、実践的教諭と研修を通して有効活用していく。 ・算数少人数指導は、児童の実態に合わせてクラス編成や指導方法を考えていく。 ・放課後補習については、指導開始と終了の進め方を明確にし、より効果のあるものとする。 ・家庭学習では、「ドリルパーク」積極的な使用について促していく。
	<読書科の更なる充実> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	・巡回図書館司書や図書ボランティアを活用し、学校図書館の整備や図書選定を進める。 ・可動式書架を有効活用し、教室での探究的な学習の充実を図る。	・保護者、地域アンケートで、探究的な学びについての肯定的な回答80%以上を目指す。	B	B	B	・図書館司書やPTAボランティアの協力で、学校図書館が整備され使いやすいものとなっている。 ・インターネットだけに頼ることなく、図書資料を用いた学習についても更に充実させてほしい。	・外部委託の司書と連携を図り、更に使いやすい充実した学校図書館を作っていく。来年度の学校図書館移動に向けて、計画を立てる。 ・担当教員を中心にPTAボランティアの協力を得ながら整備を進めていく。 ・図書館司書への選定依頼の仕方を周知し、学年に偏ることなく、図書資料を使っていく。
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上> ・日常的な体育科授業の計画的な実施・充実 ・年間を通じた運動遊びをはじめとした体力向上に向けた取組の実施・充実	・校内研究の研究教科に体育科を取り入れ、体育授業の充実を図り、体力向上を目指す。 ・年間を通じた運動遊びの取組や冬場の体力向上に向けた行事を計画的に進める。 ・昼休みの割当増加により、外遊びの習慣化を図る。	・保護者、地域アンケートで、体力向上についての肯定的な回答80%以上を目指す。	B	C	B	・体力向上についても大きな課題の一つである。体育授業や学校行事の更なる充実を図ってほしい。 ・学校行事など、児童が楽しみながら運動に触れる機会を多く取り入れていくことが大切だと思う。 ・熱中症対策なども考慮しながらも、休み時間を有効利用して児童が体を動かす機会を増やしてほしい。	・運動量の確保を大切にした体育科授業を展開することを第一に考え、ICTを効果的に取り入れられるように研究を継続していく。 ・経営支援部が中心となって時程を見直し、児童が体を動かす機会の確保に向けて、休み時間の充実を図っていく。
共生社会の実現に向けた教育の推進	<特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	・「一小スタンダード」に基づき、全学級で統一した学習環境や生活環境をつくる。 ・巡回指導教員、スクールカウンセラー、巡回心理士と連携しながら特別支援校内委員会の活性化を図る。	・保護者、地域アンケートで、基礎学力や基本的学習習慣についての肯定的な回答80%以上を目指す。 ・校内委員会年10回、判定委員会年4回を計画、実施する。	B	B	B	・授業中も休み時間も、児童は落ち着いて生活していると思う。教員の入れ替りもあるだろうから、ルールについては共通理解が必要だろう。 ・スクールカウンセラーなど、児童や保護者が相談できる窓口があるのは、大変ありがたいと思う。更なる充実を期待している。	・生活指導部が中心となり、「一小スタンダード」の内容周知を今一度進め、落ち着いた学習環境を整える。 ・スクールカウンセラーや心理士との連携は今後も続けていく。 ・支援を必要とする児童への更に充実した対応を進めていく。
子どもたちの健全育成	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・hyper-QUの活用	・いじめアンケートや学校に関するアンケートを学期ごとに実施する。 ・「hyper-QU」を実施し、児童の実態を知ると共に一人一人に応じた支援を進める。	・年間3回のおいじめアンケートや日常的な観察によりいじめの未然防止に努め、いじめ認知数0を目指す。 ・「hyper-QU」で学級満足群80%以上を目指す。	B	B	B	・いじめをはじめとする諸問題については、早期の対応が必要だと思う。定期的なアンケートなどは今後も続けてほしい。 ・様々な取組や調査結果をもとに、児童が楽しく学校生活を送れるようにしたい。	・2、3学期いじめアンケートについては計画的に取り組む。また、日頃から児童の様子については全教員が気にかけるが教育活動を展開する。 ・児童の学級満足度については、今一度調査結果をもとに振り返る。気になる児童については、今後も継続して見守っていく。
地域に広く開かれた学校(園)の実現	<自校の取組の積極的な発信> ・学校ホームページの充実等 ・学校公開の実施・充実	・保護者・地域向けのお知らせや学校ホームページを充実させる。 ・一部制限を設けながら、年間4回の学校公開を計画的に実施する。	・保護者、地域アンケートで、学校の教育活動への理解についての肯定的な回答80%以上を目指す。 ・学校公開毎のアンケートで、肯定的な意見90%以上を目指す。	B	B	B	・学校ホームページや学校便などが充実しているの、児童の様子がよく伝わる。 ・学年便りや学級通信を定期的に発信し、必要な情報を提供しているが学級によっての温度差がある。 ・学校公開や学校行事では、保護者にアンケート回答を依頼し、教育活動に生かしている。	・学校ホームページについては、今後も継続的に発信し、保護者の理解を得られるように努める。Tetoruを効果的に運用し、連絡・周知をより確実なものにする。 ・学校公開については制限がなくなり、参観しやすくなったと感じている。保護者にとっても、児童の様子を見る機会はありがたいと思う。
特色ある教育の展開	<思いやりのある児童の育成> ・道徳教育の充実 ・人権意識を高める教育活動の充実	・道徳授業地区公開講座では、全学級で道徳授業の公開を行う。 ・管理職による授業観察では、年間の中で1回は道徳の授業を行い、授業方向を図る。 ・年間を通して「人権の花」運動の取組を推進し、全校児童に発信する。	・保護者、地域アンケートで、思いやりの心の育成についての肯定的な回答80%以上を目指す。	B	B	B	・道徳教育の充実は、とても大切なことだと思う。授業公開や講演会は、今後も計画的に進めてほしい。 ・人権の花運動の取組によるプランターの花がよく育っていた。植物栽培を進める中で思いやりの心を育ててほしい。 ・道徳部からの提案や資料提供を生かし、学校全体で共通理解のもと、各学級での道徳授業を充実させていく。 ・栽培委員会を中心に、継続的に草花のお世話を続け、学校全体に広げていく。	
	<道徳授業地区公開講座>	・学校公開や学校行事において、保護者からアンケートを回収し、取組についての意見を聴取していく。改善が必要な内容は、随時検討し見直ししていく。	・学校公開や学校行事において、保護者からアンケートを回収し、取組についての意見を聴取していく。改善が必要な内容は、随時検討し見直ししていく。	B	B	B	・道徳授業地区公開講座では、全学級で道徳授業の公開をすることができた。また講師を招聘しての講演会を開催した。 ・道徳主任が中心となり、道徳授業の進め方や評価の仕方について共通理解を図った。若手教員を中心にさらに授業力を高めていく。 ・「人権の花」運動では、栽培委員会の児童が積極的にかわり、植物栽培や掲示物制作を進めた。	